



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

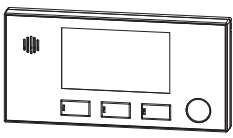
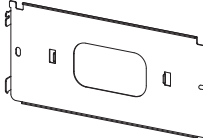


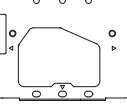
注意

■工事をされる方へのお願い

- 機器を正しく安全に使用していただくためにこの「設置工事説明書」をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。工事の際は電気設備基準などの関連法規を遵守してください。
- 本品を指定する機器に使用してください。

■梱包内には下記の商品が入っています。取り付け前にご確認ください。

名 称	形 状	個数	名 称	形 状	個数
浴室リモコン		1	固 定 金 具		1
タッピンねじ	 (M4×25)	2	かんたん接続ガイド		1
カールプラグ	 (6×25)	2	設定変更説明書		1
Y 型 端 子	 (M3用)	2	取 扱 説 明 書		1
閉 端 接 続 子		2	設置工事説明書	 (本紙)	1

名 称	形 状	個数
台所リモコン		1
固 定 金 具		1
タッピンねじ	 (φ4×25)	2
長 ね じ	 (M4×65)	2
Y 型 端 子	 (M3用)	4
床 暖 房 設 定 変 更 説 明 書		1

浴室リモコンの取り付け

△注意 工事前のご注意

■設置場所のご注意

1. 低電圧 (24V) で防水しており危険はありませんが、浴室内なるべくお湯、または水がかからない場所で、操作しやすいところに設置してください。

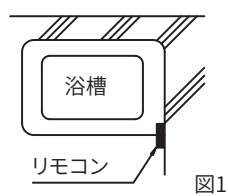


図1

■リモコンケーブルの配線

1. リモコンケーブルは0.5～1.25Sのキャブタイヤケーブルを必ずご使用ください。
 2. リモコンケーブルを貫通させる壁面は、外側から屋内に上がり勾配で穴をあけケーブルを通した後は防水のためシールしてください。
- 注) リモコンケーブルは1個のリモコンにつき長さ25m以内で使用してください。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。

△注意 設置工事

■取り付け上の注意について

1. リモコンおよび、それに関連したリモコンケーブルの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。工事の際は次の法規、基準に従って設置してください。
 - ・電気設備技術基準 ・電気工事士法 ・内線規定 ・電気用品安全法
 - ・日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実務指針」
2. リモコンケーブルは保護のため電線管もしくはCD管を用いて通線することをお薦めします。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
3. 電話線、ガス管、水道管との隔離距離（電気設備技術基準 第204条）を守り、リモコンケーブルが直接接触しないように施工してください。またAC100V、200V配線、他製品のリモコンケーブルとの併走および同一電線管内への通線は行わないでください。機器が正常に作動しない場合があります。
4. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングの可能性があるので、台所（増設）リモコンとは4m以上離して設置してください。
5. リモコンケーブルを途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しないでください。1個のリモコンに対し、1本（2心）のリモコンケーブルを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
6. くぎ打ちのおそれがある場合には、ケーブルを厚さ1.2mm以上の垂鉛メッキの鋼板にて保護してください。
7. リモコンケーブルは屋外から屋内に向けて、上り勾配になるように通線してください。
8. リモコンの外周（図4・5）および防水カバーの外周（図12）のコーキング（壁内部への水の浸入の防止）を行ってください。

※機器本体とリモコンケーブルの接続方法につきましては、機器本体の設置工事説明書をお読みください。

壁面直取り付け・ユニットバス取り付けの場合

1. 壁にφ20mmのリモコンパイプ貫通穴をあけます。次にリモコン取り付け用の穴を2つあけます。（図2・3）
 - ・壁面直取り付けの場合は、φ6mm・深さ30mmの穴をあけ、付属のプラグを打ち込みます。（図5）
 - ・ユニットバスの場合は、φ5mmの穴をあけ、リモコンが取り付くユニットバス外壁面に裏打板を取り付けます。（図6）

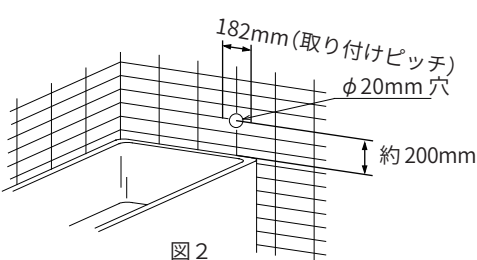


図2

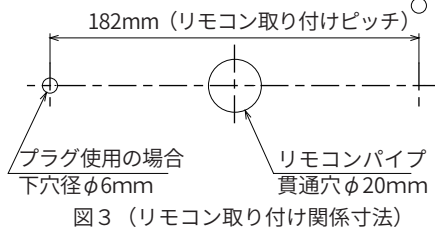


図3（リモコン取り付け関係寸法）

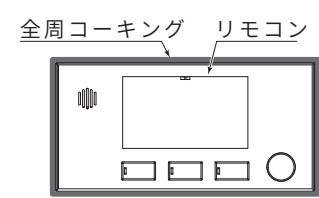


図4

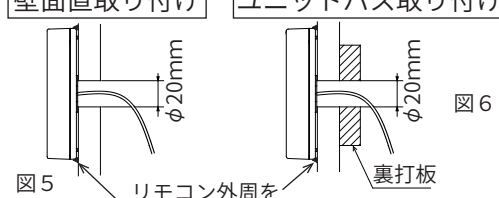


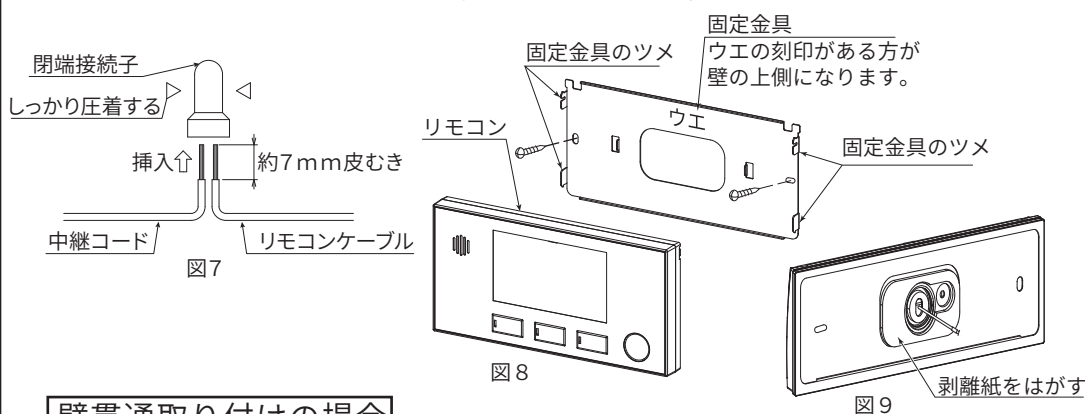
図5 リモコン外周を防水コーキングします

図6

注) リモコンから出ているリモコンケーブルの位置と壁面の貫通穴を合わせてください。

部品の確認

2. リモコンケーブルを7mmほど皮むきして、中継コード（長さ約400mm）の閉端接続子に挿入し、しっかり圧着します。（図7）
3. 固定金具を付属の＋ナベタッピンねじ2本で壁に水平になるように固定してください。（図8）
 - （締め過ぎに注意してください。ドライバーで必ず手回しして締め、インパクトドライバーや電気ドライバーは使用しないでください。）
4. 裏面パッキンの剥離紙をはがし（図9）、固定金具のツメ（4ヵ所）が確実にリモコンにはまっていることを確認してください。（※コーキングは必ず実施してください。）
5. リモコン外周を必ず全周コーキングしてください。（図4・5・6）コーキングを忘れるとリモコン内部に水が入り故障の原因になります。



壁貫通取り付けの場合

下記別売部品を使用します。

別売部品			
名 称	部 品 コード	形 状	用 途
屋外カバーセット	WP000	 (カラーパイプナット) 在中	壁貫通取り付けを行う場合に使用します。
		 (φ24mm 130～205mm)	

1. 壁にφ24mm以上の穴をあけてください。標準タイプの取り付け壁厚は130～205mmです。（図10）
 - ※取り付け壁厚が205mm以上の場合は特注となり、以下の部品が必要となります。

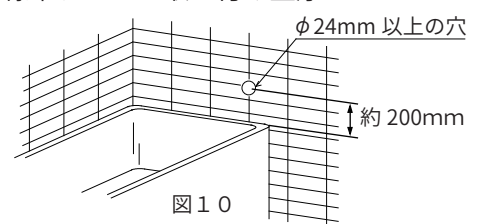


図10

2. リモコンパイプにリモコンの中継コードを通し、リモコンにリモコンパイプをねじ込み、取り付けます。（図11）
3. リモコンパイプが外壁面より30mmほど出るようにリモコンパイプのねじで長さ調節をして、壁の穴に挿入します。（図11）
4. 裏面パッキンの剥離紙をはがし、図4の指定位置にコーキングします。（図4・5・6）
5. 屋外で、防水カバーのふたをあけ、防水カバー・カラーの順で中継コードおよびリモコンパイプに通します。（図11）
6. パイプナットをリモコンパイプに締めつけます。（締め過ぎに注意してください。）（図11）

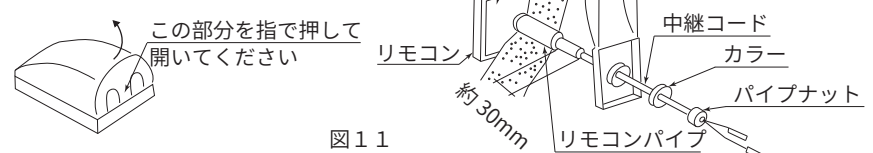


図11

7. リモコンケーブルを7mmほど皮むきして、閉端接続子に挿入し、しっかり圧着します。（図7）
8. 接続部が防水カバー内に収まるよう、クランプで固定します。また、防水カバー外周のコーキングを行ってください。（図12）

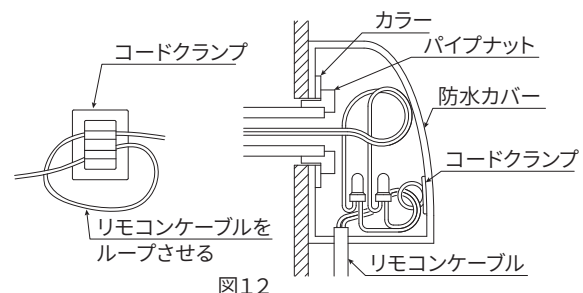


図12

台所リモコンの取り付け

△注意 工事前のご注意

■下記の場所には取り付けないでください。

1. 温度の高温なところ
2. 屋外の直射日光のあたるところ
3. 湯気のかかるところ
4. 水しぶきのかかるところ
5. 油のかかるところ
6. 幼児の手の届くところ
7. 浴室

■ねじを締めつける際、強く締めすぎますとリモコンや固定金具が変形するおそれがあるため、電気ドライバーやインパクトドライバーは使用しないでください。

■リモコンケーブル(別売部品)の配線

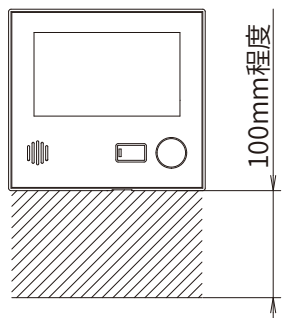
1. リモコンケーブルは1つのリモコンにつき長さ25m以内で使用してください。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。
2. リモコンケーブルは指定品を必ずご使用ください。
3. リモコンケーブルを貫通させる壁面は、屋外側から上がり勾配で穴をあけ、ケーブルを通した後は防水のためシールしてください。

■AUX端子(φ3.5外部入力端子)の抜き差しができるように下側には100mm程度の十分なスペースを設けてください。

△注意 設置工事

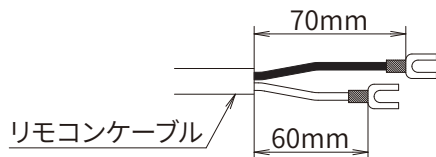
■取付上の注意について

1. リモコンケーブルは保護のため電線管もしくはCD管を用いて通線することをおすすめします。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
2. リモコンケーブルは他の製品のリモコンケーブルや他の電気製品の電源コードとの併走は行わないでください。機器が正常に作動しない場合があります。
3. リモコンケーブルを途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しないでください。1つのリモコンに対し、1本(2心)のリモコンケーブルを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
4. 壁面よりリモコンケーブルが十分な長さで引き出されていることを確認してください。
5. リモコンケーブルのY型端子は樹脂スリーブ付(付属品)を使用してください。
6. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングの可能性があるので、浴室(増設)リモコンとは4m以上離して設置してください。
7. 台所リモコンは無線子機を持つドアホンなど常時電波を発生する機器の近くに設置しないでください。ミュージック機能や通話機能を使用するときに、浴室リモコンから雑音が聞こえることがあります。やむを得ず設置する場合は、電波がリモコンに悪影響を与えないかどうかを現地確認の上、設置場所を決めてください。
8. AUX端子(φ3.5外部入力端子)の抜き差しができるように下側には100mm程度のスペースを設けてください。

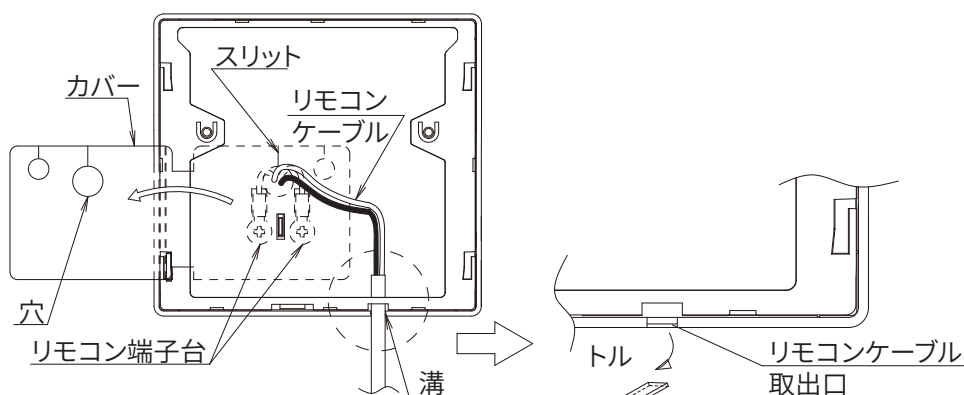


リモコンケーブル下出しの場合

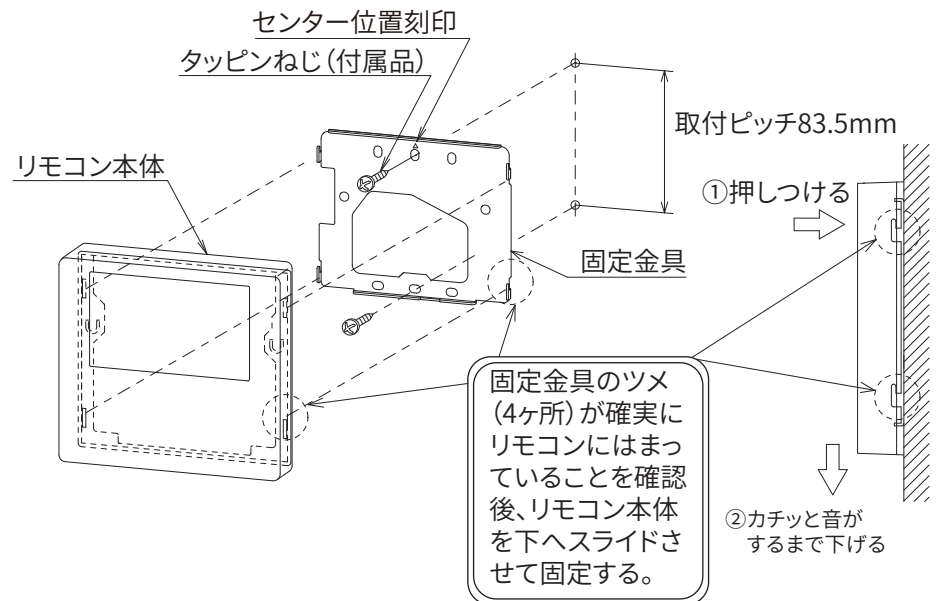
1. 固定金具を付属のタッピンねじ2本で壁に固定してください。(ねじはドライバーで手回して締め、インパクトドライバーは使用しないでください) この際、水平器を用いて固定金具が水平になるように取り付けてください。
2. リモコンケーブルの皮をむきます。(下図寸法)



3. リモコン裏面のカバーをめくり、端子台のねじ2本をゆるめてリモコンケーブルのY型端子を接続します。(ねじはドライバーで手回して締め、インパクトドライバーは使用しないでください) リモコンケーブルは溝(取出口)を通し下方に出します。このとき化粧枠の膜(取出口)をペンチ等で取り除いてください。



4. めくったリモコン裏面のカバーを元に戻し、リモコン本体を固定金具に引掛けます。センター位置の刻印を目安にしてリモコン本体と固定金具ツメの位置を合わせ、①リモコン本体を壁面にやや押しつけるようにしながら、②約5mm程度下方へスライドさせます。(カチッと音がするまで下げる)

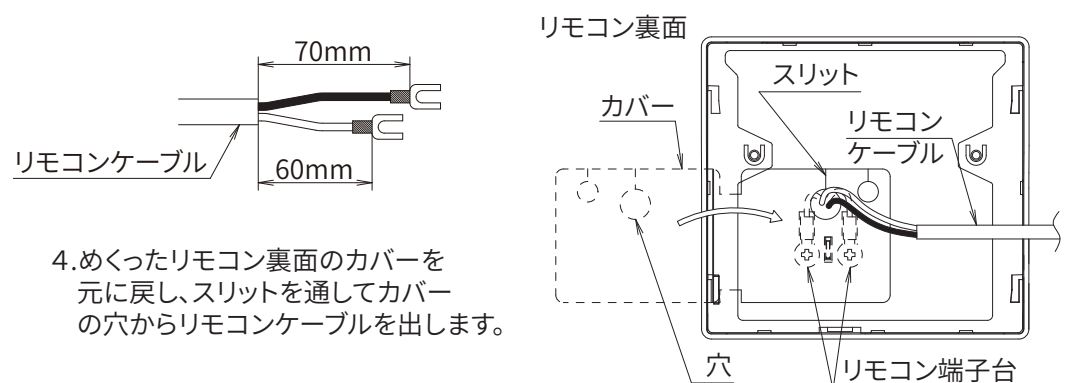
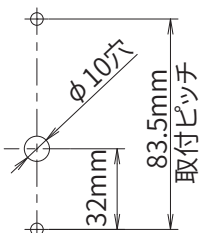


※石膏ボードに取り付けの際は、φ8の下穴をあけ、別売の樹脂カールプラグ(部品コード WP001:2個入)を必ずご使用ください。

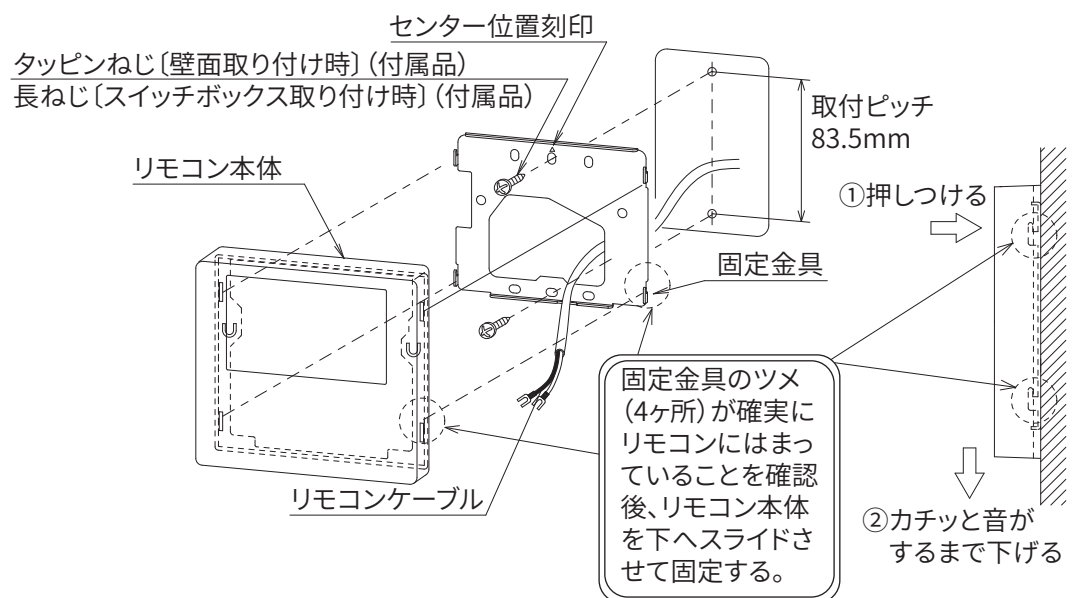
5. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認してください。

リモコンケーブル後出しおよびスイッチボックスへの取り付けの場合

1. リモコンケーブル後出しの場合は、φ10mm以上の穴を壁面にあけてください。スイッチボックス取付の場合は、スイッチボックスを取付箇所に取り付けてください。 ※加工した穴のまわりやスイッチボックスまわりの加工くずは、必ず取り除いてください。
2. 固定金具を壁面に取り付ける場合は、付属のタッピンねじ2本で固定してください。スイッチボックスへ取り付ける場合は、付属の長ねじで固定してください。(ねじはドライバーで手回して締め、インパクトドライバーは使用しないでください) この際、水平器を用いて固定金具が水平になるように取り付けてください。
3. リモコンケーブルの皮をむき(下図寸法)、固定金具の開口部に通します。リモコン裏面のカバーをめくり、端子台のねじ2本をゆるめてリモコンケーブルのY型端子を接続します。(ねじはドライバーで手回して締め、インパクトドライバーは使用しないでください)



4. めくったリモコン裏面のカバーを元に戻し、スリットを通してカバーの穴からリモコンケーブルを出します。
5. リモコン本体を固定金具に引掛けます。センター位置の刻印を目安にしてリモコン本体と固定金具ツメの位置を合わせ、①リモコン本体を壁面にやや押しつけるようにしながら、②約5mm程度下方へスライドさせます。(カチッと音がするまで下げる)



6. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認してください。

本体機器とリモコンケーブルの接続方法につきましては、機器本体の設置工事説明書もお読みください。